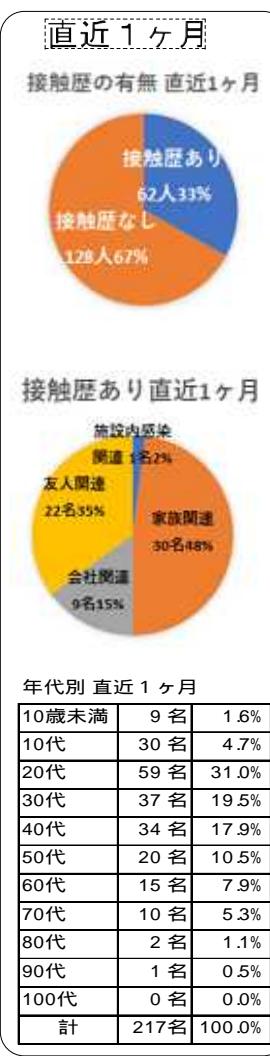


## コロナ 対策…

# 区内コロナ感染拡大状況と対策は… 家族友人 旅行など外出 飲食で増加

下のグラフや表は、区議会に報告された12月12日現在の数字をもとに作成しました。



12月15日の区議会健康・危機管理特別委員会に、区内のコロナ感染状況の報告がありました。コロナ感染は、全都、全国での拡大が続き、区内でも大きなクラスターはありませんが、学校、保育園、高齢者施設などで感染が継続的に確認されています。実際10月1か月で92名、11月では160名も増えています。12月に入つて13日現在で81名増えています。

区は増加の要因と特徴について、接觸歴なしが上回る家族、友人との接触

友人との飲食といった方の増加を上げています。具体的には、12日時点 715名の荒川区集計で感染ルート（接触歴あり）が分っている人が 286名、次に家族・友人・会社関係の順となっています。一方、60%が感染ルートが不明、直近の 1か月では、その割合が 67%です。また家族 48%、友人 35%との関連の割合も高くなっています（左グラフ参照）。「GOTOトラベル」の影響も見えてきます。

だからこそPCR検査拡大が急がれるのではないでしようか。

# 横山幸次

# 区政報告 ニュース

785

2020年12月20日  
発行 日本共産党区議会  
3802-4627  
fax 3806-9246  
araicp@tcn-catv.ne.jp

横山区議事務所  
荒川区町屋5-3-5  
3895-0504  
Eメール: アドレス  
kouji.office@gmail.com

荒川区政の各種情報・  
話題など...横山幸次区議  
のホームページをご覧く  
ださい。

## 第29回区民アンケートに ご協力をお願いします

来年度予算編成に向けて区民アンケートをお願いしています。アンケート用紙と封筒をお届けしています。また今回から「Webアンケート」も併用して実施しています。左のQRコードからサイトに入れます。



まちの話題あれこれ

お困りごとなど電話、  
ファックス、メールなど  
でお気軽にご相談下さい。  
裏面 8期高齢者プラ  
ン、補助90号線...など



## 解体工事準備中の団地...

仲道団地（荒川7丁目）は、必ず目に入る風景です。その団地で番古い1号棟が建て替えといううとで、多くの居住者にみなさんび町屋5丁目の電化通り沿いに建て替えられた町屋5丁目団地に引っ越ししてこられました。そして年の瀬を控えたこの時期に、空き家になつた団地に足場が作られ、フェンスで囲まれ解体工事

居住者の多くが町屋5丁目電化通りの都営住宅に転居している  
荒川7丁目都営仲道団地1号棟の解体工事が始まっています

町屋から区役所に向かうとき、京成線のガードと都電の踏切を抜けた先にを抜けた左側にある都営仲道団地（荒川7丁目）は、必ず目に入る風景です。その団地で一番古い1号棟が建て替えということで、多くの居住者にみなさんが替えられた町屋5丁目団地に引っ越しで、多くの居住者にみなさんが団地に生まれ変わる計画です。どんな団地になるのか。合わせて考えたいのは、コロナ禍で住宅に困窮する人が増えています。新たに新規都営住宅建設と新規募集も必要です。来年の都議選の争点の一つになるでしょう。

横山幸次

## 定期法律相談会

1月14日(木)  
横山事務所18時～20時  
正月休みのため変更

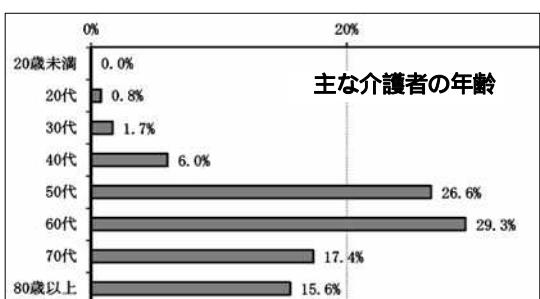
弁護士と横山区議が相談をお受けします。生活相談は、随時受付ています。  
TEL&FAX 3895-0504  
不在時は、留守電へ、後で連絡します。  
区役所控室 3802-4627



# 8期荒川区高齢者プランの策定… 老老介護や介護離職などどうなる？

2021年度から23年度までの介護保険の内容を決める8期

荒川区高齢者プランの策定が行われ、パブリックコメントも実施されています。



## 高齢者等の世帯構成

「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」…30.6%

「1人暮らし」…23.9%

「息子・娘との2世帯」…16.7%

## 主な介護者

「配偶者」…27.8% 「子ども」…54.2%

## 介護離職

「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」8.4%

## 在宅生活の継続で主な介護者の不安

「認知症状への対応」 31.7% 「外出の付き添い、送迎等」が27.6% 「夜間の排泄」27.0%

荒川区の高齢者人口は、現在50,137人、高齢化率23.2%であり、3年前からほぼ横ばいであるが、区の人口に占める割合は75歳以上(後期高齢者人口)の10月現在の11.7%より増加、今後75歳以上の割合が増加することが見込まれるとしています。

介護保険制度が始まって20年を経ましたが、当初の「介護の社会化」どころか、家族介護や老老介護が大きな社会問題となつたままです。区の「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」(左グラフ、下図み参照)でも主な介護者が、70歳以上が3割を超えていました。

## 暮らしの情報コーナー

年末年始に向けて、事業継続や資金繰りに苦慮されている事業者の方が多くおられます。

持続化給付金や家賃支援給付金などの手続きは終わっていますか？申請したがまだ給付されない、「書類不備」で送り返された…など相談が寄せられています。

区内関係団体や共産党国会議員団とも連携して解決にあたっています。お気軽にご相談ください。

03-3895-0504 横山事務所まで

## 今週のデータ コロナ対策での日本政府は… お金の使い方が間違ってませんか？

各国政府は、コロナパンデミックの中、国民のためにどういったメッセージを贈り、暮らし命をどう守るのかが鋭く問われています。ドイツのメルケル首相のロツクダウンに伴う国民へのメッセージは、消費税減税、電気代値下げを実施。加えて今回のロツクダウンに伴う補償を決めています。日本では、突出した事業費、持続化給付金や家賃支援給付金は来年1月15日で打ち切り、GOTOトラベルは延長…やはり間違っていませんか？

ドイツ 16兆円規模のコロナ追加

消費税減税 電気料金値下げ

子育て世代には子ども1人につき3万7000円給付

日本 防衛費 5兆3400億円 過去最大見通し

コロナ対策予備費から、GoToトラベルに3119億円追加

年収200万の75歳以上高齢者は医療費負担が2倍に

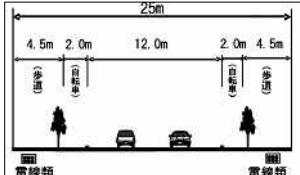
政府は「介護への不安」に応えるどころか、「制度の持続可能性の確保のため」として、給付削減と利用者負担の引上げで、介護報酬や国の財源負担割合の引上げはしませんでした。その上、社会保障・高齢者社会のためといいながら二度の消費税は引上げ、年金削減、75歳以上上の医療費窓口2割負担を導入しようとしています。

第8期高齢者プランを作るにあたって、高齢者の暮らしを支える介護サービスを拡充し、必要な支援が提供できたのか、荒川区として、この20年を総括した上ででの対応が必要です。

介護の困難や不安を抱える区の実態に寄り添ったサービスの具体化を求めていきます。



## 都電町屋駅～区役所の沿線で空地は都電通り延伸・道路拡幅の用地です…



何人の方から「区役所に向かう都電沿いに空地が広がっているが、何になるのか…」といったご質問がありました。

いま行われているのは、東京都が実施している補助第90号線(都電通り)を明治通りの「都電通り」を明治通りに抜けて、その

都電通りが、「写真に京成駅を抜けて、その駅両側を抜けて、その後写真ゆいの森の前から明治通りに抜けま

りまで延伸拡幅：1.120m)整備事業です。計画に合わせて今年度としているのですが、そう簡単ではありません。立退かれた方の生活再建はうまく行つたようですが、単なる抜け道にならないか…など心配も多くあります。

事業期間は、2025年までとなっています。す。当初は、オリンピックに合わせて今年度としているのですが、たようですが、そう簡単ではありません。立退かれた方の生活再建はうまく行つたようですが、単なる抜け道にならないか…など心配も多くあります。